



楽水楽山

第163号

令和6年 10月 21日発行

見えないものの大切さを知った9月

9月最初の月曜日

住田町は昼過ぎから激しい雨が降りました。住田高校では PTA 理事会が開催されていました。夕方、昼間の雨の影響で学校前の国道 107 号線（本校から約 400m の付近）で倒木があり、翌日の午後まで住田高校から倒木現場までが通行止めとなりました。（多くの方の足に影響が出たようです。災害現場では、荒天の中復旧作業が進められ、翌日午後には片側通行が可能になるまで復旧。たくさんの方のご尽力に感謝。）

いつもは気仙地域～内陸間をたくさんの方が往來する学校前の道路ですが、この日は工事作業車以外全く車が通りません。「この機を逃す手はない！」と、本校技術員の小岩さんが朝から道路脇にある学校の立て看板を清掃してくれました。（普段はかなりの交通量なのでこの作業はできません。）



私たちの
事務室オールスターズ！

忘れもしない9月 25 日（水）学校の汲み上げポンプが故障し、断水。住田町の協力により、この日を境に本校では、これまでの井戸水ではなく町水道の水を利用することになりました。水をタンクに溜めるため、毎日夕方 5 時から翌朝 8 時まで水道を止めています。水道栓の開け閉めなど、学校施設の整備は事務室の皆さんが行ってくれています。それだけではありません。証明書類の発行や、通学費補助の手続きなどの様々な業務でもサポートして下さっています。事務室の皆さんがいるから、安心して生徒も職員も授業や部活動に励むことができます。本当にありがとうございます。

見えないところでたくさんの方が誰かのために一生懸命働いてくれていること。これを普段の生活で想像することは、簡単なようで実は難しいこと。そんなことに気づかせてもらえた住高の幸せな時間でした。

文部科学省研究開発学校指定 最終年次学校公開研究会！

9月27日（金）住田町役場町民ホールを会場に学校公開を実施。平成29年度からこれまで続けてきた、町内小中学校、高校による「地域創造学」最終年次の取組を発表したもので、令和3年の公開以来3年ぶりの開催でした。2、3年生によるステージ・ポスター発表では、一人一人が地域の課題などをまとめて発表。大船渡市の魅力を伝えた志田陽飛さん（3年）は「3年間学んだ集大成を伝えることができた。地域創造学がきっかけでさんま焼き師の資格を取得するなど、地域を知らながら自分も成長することができた」と振り返り、生徒会長の紺野爽介さん（2年）は「先輩たちの発表も参考にしながら、自分たちもさらに地域を盛り上げられるように頑張りたい」と今後の意気込みを語ってくれました。

また、地域の方々、研究開発学校運営委員の皆様、県内外の教育関係者など多くの皆さまをお迎えするなか、参観された方からは「生徒たちが安心感をもってアクションを起こし、自己考察していた点、他の生徒たちの感想からうかがえる他者を尊重する視点、支える大人たちの温かさや教育的視点に感銘を受けることが多々あった」との感想を頂戴でき、改めて実り多い公開であったと感じています。



（マイプロジェクト・ポスターセッションの様子 住田町役場）

公開の一週間後には「住高祭！」会場に溢れる笑顔！笑顔！笑顔！

学校公開を終えた次の週には文化祭が開催されました！なんと忙しい学校なんでしょう……。それでも住高生は気持ちを切り替え、文化祭準備に取り組んでくれました。今年度の住高祭テーマは「Make smiling bloom～みんなの力で最高の思い出に～」でした。全校生徒だけでなく来場される皆様方も笑顔で楽しめるようにとの思いが込められています。前日までの雨模様を吹き飛ばす快晴に恵まれた一般公開日、会場は終始「笑顔」で溢れていました。来場した中学生からは「いろんな催しがあり、楽しい校風を感じることができた」といった感想を頂きました。この文化祭で実行委員長を務めた青山萌華さん（2年）は「生徒たちの個性や魅力の詰まった最高の文化祭になった」と満面の笑みを見せてくれました。



住高ハウス〇〇

まるまる通信

住高ハウスの
情報をまるっ
とお届け！

【地域みらい留学 住田高校 学校説明会・下宿見学ツアーを開催！】

9月15日、10月5日、10月21日、住田高校では※地域みらい留学を検討してくれている方向けの「学校説明会と下宿見学ツアー」を開催しました。「住田高校を見てみたい」と、県外より3組の方が見学に来てくださいました。校長・副校長・住田町教育委員会教育長・次長・地域の方々・教育コーディネーター、今年度から入学している2名の地域みらい留学生でお迎えし、オンライン個別説明会や東京での合同学校説明会だけでは伝わらない、生徒1人1人を大事に、個性を尊重している住田高校の教育を肌で感じていただきました。大船渡市にある下宿先も見学をし、周辺を紹介しながら歩き、ゆっくりと話す時間もあり、お互いを知る大変有意義な場となりました。

※地域みらい留学とは

都道府県の枠を越えて、地域の学校に入学し、充実した高校生活を送るプログラム。留学先は日本各地で、学校と地域が協働して魅力ある教育改革に挑戦し、全国からも入学生を募集している公立高校である。その地域での新しい出会い、そこでしかできない体験を通じて、留学生たちは「社会的実践力」を身に付けていく。高校進学の実践力を広げ、生徒に新しい学びの環境をつくり、過疎地域の課題解決へつながる取り組みの1つ。



【地域創造学 3年生 マイプロジェクトサポート】

地域創造学とは、「地域資源を活用し、地域について学び、地域に出て実践することを通して、社会参画の意義や社会と自分とのかかわり、自分自身の生き方へ考えを深めていくこと」を目指す、住田町独自の教科です。

大船渡市の魅力を知り、発信するプロジェクトに取り組む男子生徒。最初は碁石海岸の魅力に触れ、大船渡市以外から通学している友人に紹介するアクションからスタートしました。

ラストアクションでは、特に大船渡市の食の魅力に着目。有名な大船渡市のさんまの知識や焼き方の技能を学ぼうと、大船渡市観光物産協会主催の「大船渡市さんま焼き師認定試験」

7月13日(土)の実技講習に参加。7月14日(日)には学科講習と学科試験を受験。

この度、見事さんま焼き師として認定を受け、学んだ知識を活かし、自らも住高ハウス〇〇でさんまを焼くイベントを開催し、担任・副担任の先生・友人たちに初めておふるまいをしました。

地元企業に就職内定をしているこの生徒さん、これからもさんま焼き師として地元イベントをお手伝いしたいと意欲を高めています！ 今後も生徒さんの「チャレンジ」を住高ハウスでは応援していきます。



【10月6日 住高ハウス〇〇レクデー 滝観洞ツアー】

6人の男子生徒と教育コーディネーターで参加してきました！

住田観光開発株式会社 取締役千葉孝文さんをゲスト講師として迎え、洞窟内をガイドしていただきながらのアドベンチャー！初めて滝観洞に入った生徒もあり、「身近にこのような素晴らしい場所があることを知りました」と感想を教えてくださいました。また、住田町出身の生徒は「滝観洞に来るのは小学校以来です。ガイドさんが付いてくれたので、知らなかったことを学べて楽しかった！」

とツアーを振り返りました。来月のレクデーはアートに触れる機会をご用意しますよ！お楽しみに～♪

